

## 「みんなで力をかし合おう」

福井県 福井市立上文殊小学校 3年 きよかわ あい  
清川 藍

「ていぼうが決かいしそうです。すぐ、近くのひなん所にい動してください。」

平成16年7月、福井ごう雨がおきました。当時、わたしの家族は木田小学校の近くにすんでいました。木田小の北にある足羽川のていぼうが決かいし、たくさんの家が土砂にやられました。私の家にも水が来ました。家にはお母さんと生まれてまだ1ヶ月の私とお兄ちゃん二人しかいませんでした。お母さんは、子ども3人をつれてにげるのがいいのか、2階にいた方がいいのか、なやんだそうです。

幸い、私の家は土砂にはやられませんでした。でも、お兄ちゃんの友だちの中にはランドセルや教科書、思い出の写真などが全部だめになってしまった人もいたそうです。新しくの家がこわれてしまった人もいたらしいです。私のおじいちゃんの家も水につかり、たたみなどがどろだらけになりました。大切な本やビデオもだめになったそうです。でも、足の悪いひいおばあちゃん、おじいちゃんおばあちゃんは無事だったのでよかったです。

今年の夏はゲリラごう雨のニュースをよく聞きました。雨で土砂がくずれ家がうもれてぎせい者が出たそうです。思い出はまたつくればいけれど死んでしまったらつくれません。

ごう雨の写真やえいぞうを見ると、水の力はものすごいということが分かります。日本の川は短くて急なので大雨がふると土砂災害がおきやすいそうです。上文殊では、6月に土のうを作ったりつんだりする訓練をしました。福井ごう雨の時も地区の人たちが力を合わせてどろの始末などをしたそうです。日本では土砂災害が起きるかのう性が高いらしいので、ふだんから地区全体で訓練しておくことが大事だと思います。ぎせい者が1人も出ないよういざという時手をかし合いたいです。そのために、ふだんから地区の人と仲よくし、すんでいる人のことを知っておきたいです。